自由に、創造的に動きと関係性を学ぶ

高位四肢麻痺のリハビリテーション

概要

本メソッドの習得プロセス。基本理論。モビリゼーションとリハビリテーション。看護実践における運動感覚を用いた学習モデル。日々の規則的な介入。個々のセルフケアにおけるキネステティク。コーピング戦略。

「著者は必須となる基本を紹介し、四肢麻痺を例にプログラム開発のプロセスを記述している。この習得のプロセスで得た経験から、Viv-Arte®（ヴィヴ・アルテ）の『キネステティク・モビリゼーション（VAP 開発当時の名称）』が誕生した。ケアの全専門分野に組み込んで実践でき、動きを教える人と四肢麻痺患者が同レベルで対等に学ぶものである。」（介護雑誌、2006 年 5 月）

（本著紹介ページより抜粋・和訳）

2005、ハイディ・バウダー ミスバッハ著

Spielerisches Lernen von Bewegung und Beziehung. Rehabilitation nach hoher Querschnittlähmung

出版社：Schlütersche Verlag